

カトリック大阪大司教区 こどもの里 since 1977

557-0004
住所 大阪市東淀川区東之島2-3-2
4
電話・FAX 06-6648-7778
Eメール kodomo-no-ato@k8.dion.ne.jp
URL http://www.k8.dion.ne.jp/~ato/

大阪市子どもの家事業・小規模住居型児童養育事業(ファミリーホーム)・緊急一時宿泊所

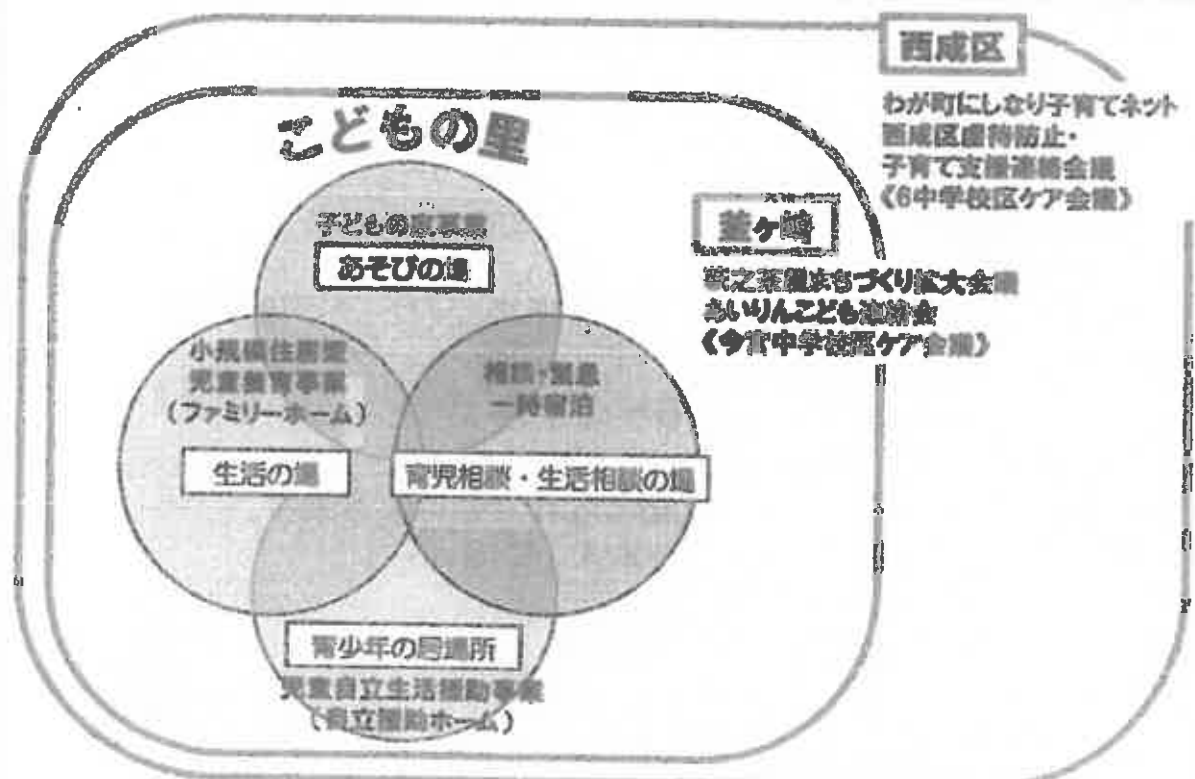
～こどもたちの遊び場と生活の場です～

誰でも利用できます
子どもたちの遊びの場です
お母さん お父さんの休息の場です
学習の場です
生活相談 何でも受け付けます
教育相談 何でもできます
いつでも宿泊できます
緊急に子どもが一人ぼっちになったら
親の無力にあったら
家がいやになったら
親子で泊まるところがなかったら
士・母・叔もやっております



こどもの里

こどもの里 全体イメージ



こどもの里

こどもの里が大切にしていること

①必要とする人は誰でも利用できる場であること

《安心な場》

②遊びの場、休息の場であること

《愛されているという実感があり、失敗しても大丈夫な自由な場》

③学習の場であること

《生きているだけですばらしい、自信と自己尊重な場》

④利用する子どもたちや保護者の抱える様々な問題を受け入れられる場であること

《聴いて、受け止めてくれる人がいる場》

⑤より弱い立場の友達と社会の谷間におかれている友だちと共に助け合って生きていける場であること

《必要な生活の場、仕事の場等、新しい福祉地域文化を創造する場》

こどもの里

①必要とする人は誰でも利用できる場であること 《安心な場》

乳児、幼児、小学生、中学生、15歳以上、「健常」児、「障がい」児、国籍などの区別なく、利用できる場である。

・釜ヶ崎及び近辺の子どもたち

・近隣の学童保育閉鎖のため行き場のなくなった「障がい」児

・他の地域で受け入れられる場のない「障がい」児

・夫の暴力や内縁の夫に見捨てられて逃げて来たり、行き場のなかった親子（日本人、外国人）

・こどもの里で育った社会人
（ボランティアの場また休息の場として）

こどもの里

子どもの家事業として

①-1 開館日時

開館日 > 土曜日、日曜日、祝日も開館（原則火曜日休館）

開館時間 > 午前8時(7時)～午後9時30分(11時)

①-2 こどもの里利用実績

年代	登録児童数（内障がい児・者数）	開館日数	利用者数（内障がい児・者数）
2004年	99名（15名）	309日	14,226人（1,879人）
2005年	122名（22名）	313日	12,913人（1,879人）
2006年	108名（20名）	309日	14,816人（2,331人）
2007年	100名（18名）	310日	13,905人（3,029人）
2008年	121名（19名）	306日	13,886人（2,520人）
2009年	109名（17名）	302日	13,063人（1,953人）
2010年	96名（15名）	308日	11,718人（1,498人）

こどもの里

子どもの家事業として

①-3 2012年度利用者数及び内訳

	登録者数		内留守家庭数	生活保護世帯	一人親家庭	障がい児・者	外国籍
0歳～3歳	16	32	11	1	1	0	4
4歳～6歳	16		7	6	7	1	2
小1～小3	19	34	6	7	8	3	0
小4～小6	15		7	4	11	1	3
中学生	14	34	7	5	11	4	2
高校生	12		6	5	11	4	1
18歳	6		4	1	2 2（自活）	2	0
大人	2		0	0	0	2	0
合計	100		48	29	51+2	17	12

こどもの里

子どもの家事業として

①-4 2011年度子どもの家事業決算

科 目		予 算	決 算
【収入の部】			
大蔵市補助金		8,069,000	8,069,000
内 訳	子どもの家事業補助金	4,779,000	4,779,000
	時間延長事業加算補助金	330,000	330,000
	障害児加算補助金	2,960,000	2,960,000
	保護者負担金	1,610,000	1,481,799
内 訳	おやつ代	130,000	181,350
	行事収入	800,000	704,149
	食事代	680,000	596,300
寄付金		2,020,000	4,146
バザー売上他			523,618
行事支援金			8,690
奨励金			295
雑収入他			3,276
(経常収入計)		11,699,000	10,210,824
【支出の部】			
人 件 費		7,792,000	6,683,852
事 業 費		3,928,000	3,455,472
収支差額			71,500
(経常支出計)		11,720,000	10,210,824

子どもの里

②遊びの場、休息の場であること

《愛されているという実感があり、失敗しても大丈夫な自由な場》

遊びを通じて自分の能力を知り、自分に自信を持ち、
自分自身と他者を大切にすることを手助けする場。

そして、青年達、保護者たちがホッと一息でき、あり
のままの自分でいられる場である。

- ・日常の一人一人の遊びの助け
- ・夏・冬のキャンプ、ハイキング、子どもまつり、運動会、クリスマス会、
乗馬セラピー等、イベントの計画
- ・子どもたち、保護者、こどもの里で育った人々がホッとできる休息の空間

こどもの里

主(主)

〒557-0004 大阪府西成区新大塚 2-3-24 TEL (06) 6645-7998
 E kodomo-no-sato@k5.dion.ne.jp H <http://www.k5.dion.ne.jp/~sato>

[illegible]

クイズ!!
「倫敦」って
何?
ヒト オペラの
はてさて
先づのこ
は...
「ピーター」
だれか

$x=2$ — 下駄箱に入るとおどろき下りた
 おねるは2人 → 250人
 おやつ → 30人
 (おねるは5人、おやつは50人)

③学習の場であること

《生きているだけですばらしい、自信と自己尊重な場》

様々な家庭環境の中で、幼いうちから背負いきれないほどの重荷を負わされている子どもたち。その子どもたちが、自分たちが住む釜ヶ崎という地域を知り、釜ヶ崎とそこに生きている自分と仲間に向けられる偏見、差別や軽視、そこから起きる矛盾や様々な問題と向き合い、打ち砕く事の出来る人になるよう助け、自分と同じように抑圧されている人たちにも心をはせる場である。

③-1 学習会や他の集会に参加することにより

学校では教えてくれない大事なこと、社会の中で抑圧されている人たちのことを学び、社会や世界の本当の現状を知り、自分の生き方を見つめ直す機会を作る場である。

- * 学習会を通して…イベントに参加したり、研修旅行で現地に行き、その他の人々と交流する機会を提供(フィリピン、タイ、アイヌモシリ、在日生計、沖縄研修)
- * 特にフィリピン…プハリン地方の草カードを作る青年グループと出会い、友だちとなり交流が 続いている。(90、93、95、97、00年に訪問) 彼らの自立を支援する

こどもの国

③学習の場であること

③-2 夜まわりにより

日雇い労働者に対しての差別や偏見をなくし、また労働者との出会いによって自分も相手も一人一人が大切な存在であることに気付く、自尊心を回復し、人を大切にしていける場である

- * 野宿せざるを得ない人たちへの子どもたちの襲撃が多発する中、夜まわりを通じて野宿を強いられている労働者と直接出会い、話す機会を提供
- * “人を人として”あるため、社会をみる視点を育てる機会を提供
- * 夜まわりを通して…全国各地の小学生、中学生、高校生たちへと拡がる
- * これからの社会を担う若い人たちに釜ヶ崎の現状を知らせ、自分自身と自分たちの社会を見つめ直す機会を与える場となる

こどもの国

- ④ 利用する子どもたちや保護者の抱える様々な問題を
受け入れられる場であること

《聴いて、受け止めてくれる人がいる場》

- 次のステップに進むための生活相談ができる場であると同時に、緊急非難ができる場である
- 何かあった時にも安心して利用でき、その解決のために協力しあう
- 切迫した状況には、速やかに対応する

④-1 心身ともに健康でいることができるための生活習慣獲得への手助け・生活相談

- (1) 就学保障…不就学児の就学手続き援助、専門学校や短大進学資金援助
- (2) 不登校、家出や飢の問題等の相談
- (3) 外国人親子…定住許可ビザ獲得の援助、離婚調停の手伝い支援、国籍獲得の支援
- (4) 「障がい」児及び幼児の送迎援助
- (5) 生活権の保障(夜まわりで出会った高齢者、子ども)
…住居獲得の資金援助、生活保護の手続き
- (6) 生活費の援助…生活費援助の場の提供(内職、バザー手伝い)

こども市

- ④ 利用する子どもたちや保護者の抱える様々な問題を
受け入れられる場であること

④-2 緊急避難一時宿泊の場の提供…家族一家(サウナ、倒産)

- * 母子(暴力)
- * 子ども(家出、自立、出産)

年度	緊急一時保護・宿泊	家庭養護寮	大阪市子ども家庭支援員
2004年度	10人	10人	4家族6人
2005年度	26人	8人	4家族6人
2006年度	20人	7人	4家族9人
2007年度	23人	8人	5家族13人
2008年度	34人	7人	4家族10人
2009年度	23人	5人+1人	2家族5人
2010年度	19人	6人+1人	3家族5人

④-3 生活の場の提供、里親受託先…里子の受け入れ

…大阪市家庭養護寮<2001.8.1～>

…ファミリーホーム(小規模住居型児童養育事業)<2010.3.1～>

こども市

④ 利用する子どもたちや保護者の抱える様々な問題を
受け入れられる場であること

④-4 こどもの里 生活・子育て相談から見えてきた課題

- 1 養育者が養護施設等で育ったり、或はその成育歴に「家庭」という経験がない親と、その養育者のもとで育っている子への支援のあり方
- 2 うつ病や境界性人格障がい等の精神疾患を抱えながら子育てする母親とその養育者のもとで育っている子への支援のあり方
- 3 金銭管理能力が欠如している親と、その養育者のもとで育っている子への支援のあり方
- 4 乳児期・幼児期を母親といっしょに生活していない子と 再統合により生活して起こる母子間の相互関係問題への支援のあり方
- 5 養育者が本人自身の種々の「障がい」を、或は養育者が子の種々の「障がい」を容認できないでいる場合の支援方法

こどもの里

④ 利用する子どもたちや保護者の抱える様々な問題を
受け入れられる場であること

6 依存症を持ちながら子育てする親と、その養育者のもとで育っている子への支援のあり方

・薬物依存症…覚醒剤やシンナー、向精神薬や咳止め薬、大麻など種々の薬物による依存
・アルコール依存症
・買物依存症 等

7 父親を亡くした後の母子への支援のあり方

- ・Tくん父 2010. 5.24 病気により帰天（母…二重人格・分裂症）
（子…ファミリーホームへ）
- ・Aくん父 2010.12.11 病気により帰天（母…知的障がい・癲癇）
（4人兄弟…自立支援施設へ）
- ・Yちゃん父 2008. 現場事故により帰天（母…境界性人格障がい）
（子…自立支援施設へ）

こどもの里

④ 利用する子どもたちや保護者の抱える様々な問題を
受け入れられる場であること

8 内縁の夫からの母子への暴力に対する対処方法

- ・ k家暴力事件・ 6月Yさんから電話10日東大阪市へ23日南桜園

9 1～8のいくつかが重複している場合の支援のあり方

10 親子分離で一人になった母親への支援

大阪市子ども家庭支援員としても関わって来た家族でも3家族

11 親の死亡、病気、蒸発、貧困により一人ぼっちになった児童への支援

- ・ K.S君 ・ S.S君 ・ Tさん

12 家族と生活するも生きづらさを「非行」行為で叫んでいる児童への支援

こどもの国

④ 利用する子どもたちや保護者の抱える様々な問題を
受け入れられる場であること

④-5 あいりん子ども連絡会(今宮中学校区山王・飛田地区ケア会議)

地域の福祉・医療・保健・教育が連携しあう、子どもを守るネットワーク

西成区児童虐待防止・子育て支援連絡会議(西成区要保護児童対策地域連絡会)今宮中学校下・山王 飛田地区ケア会議

発 足 : 1985年9月

開催趣旨: 福祉や教育上、最も困難な状況におかれている「釜ヶ崎(あいりん)地区」の子どもたちの生活を、少しでも「子どもの権利条約」の理念に近づけたい、そんな思いを実現するために「釜ヶ崎(あいりん)地区」で子どものかかわる仲間同士の、子どものための情報交換や相互支援のためのネットワークづくりを進め、それぞれが持つ知識、技能、資源等を活用しあう

内 容 : 各施設・機関(団体)の近況報告と問題提起。出席者全員が自分の持ち場での要保護な子どもの近況を報告。またはかかえている問題を提起し、意見交換、支援計画、役割分担をおこなう。

参 加 者 : 釜ヶ崎地区及びその周辺の子どもたちと直接(間接)関わる関係機関(各子どもの施設・地区民生児童委員等)地域関係・保育所、幼稚園・学校・行政機関等)施設の職員等

定例日時: 毎月第4木曜日 午後2時～5時

こどもの国

- ⑤ より弱い立場の友達と社会の谷間におかれている友だちと
共に助け合って生きていける場であること

《必要な生活の場、仕事の間等、 新しい福祉地域文化を創造する場》

必要に応じて、その人に必要な生活の場を協力して創り出せるように

- ・「障がい」児とその家族とのかかわりと支援
- ・国籍の違う子どもや親とその家族とのかかわりを支援
- ・働く場のない青年たち、また「障がい」者の自立・社会参加の手助け

* 仕事に役立つ知識や能力を身につける機会をつくる

* 働ける場を創り出していく

グループホーム・児童自立生活援助事業・地域生活支援事業をする

こども未来

地域子育て支援拠点事業

- 背景
- ・ 3歳未満児の約7～8割は
家庭で子育て
 - ・ 核家族化、地域のつながりの希薄化
 - ・ 男性の子育てへの関わりが少ない
 - ・ 児童数の減少

- 課題
- ・ 子育てが孤立化し、
子育ての不安感、負担感
 - ・ 子どもの多様な大人・子ども
との関わりの減

地域子育て支援拠点の設置

子育て中の親子が気軽に集い、
相互交流や子育ての不安・悩み
を相談できる場を提供

地域子育て支援拠点

- 公共施設や保育園、児童館等の地域の身近な場所で、
乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等を実施
- NPOなど多様な主体の参画による地域の支え合い、
子育て中の当事者による支え合いにより、地域の子育て力を向上

事業内容

- ① 交流の場の提供・交流促進
- ② 子育てに関する相談・援助
- ③ 地域の子育て関連情報提供
- ④ 子育て・子育て支援に関する研修等

平成23年度実施か所数
(交付決定ベース)
5,722か所



地域子育て支援拠点事業実施要綱

1 趣旨

少子化や核家族化の進行、地域社会の変化など、子どもや子育てをめぐる環境が大きく変化する中で、家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や不安感の増大等といった問題が生じている。

このため、地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実に努め、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。

2 実施主体

本事業の実施主体は、市町村（特別区を含む。以下同じ。）とする。

ただし、事業の推進の全部又は一部を適切な事業運営が確保できると認められる社会福祉法人、特定非営利活動法人又は民間事業体等（以下「社会福祉法人等」という。）に委託することかできるものとする。

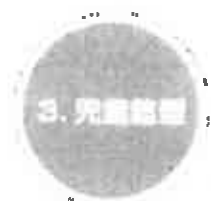
3 実施形態



常設のひろばを開設し、子育て家庭の親とその子ども（概ね3歳未満の児童及び保護者）（以下「子育て親子」という。）が気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で語り合い、相互に交流を図る場を提供するもの。



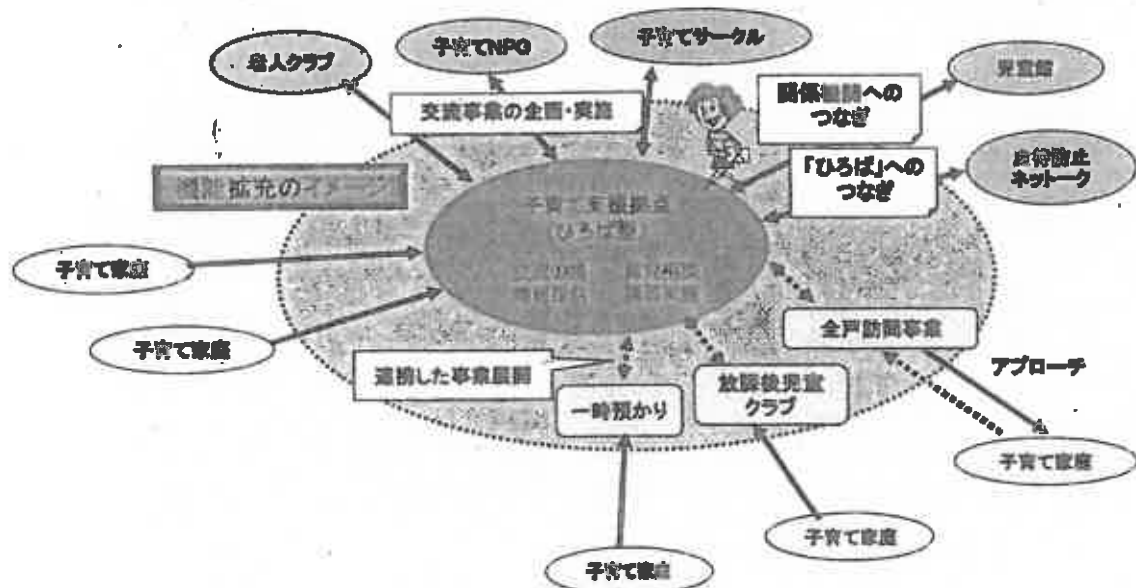
地域の子育て支援機能の収集・提供に努め、子育て全般に関する専門的な支援を行う拠点として機能するとともに、既存のネットワークや子育て支援活動を行う団体等と連携しながら、地域に出向いた地域支援活動を展開するもの。



児童館、児童センターにおいて、半日間の子どもが来館する前の時間帯等を利用して、親と子の交流、つどいの場を設けるとともに、子育て中の親などの当該影響をスタッフとして参加させた身近で利用しやすい地域交流活動を展開するもの。

地域子育て支援拠点事業「ひろば機能拡充」について

○ ひろば型のうち、地域の子育て支援拠点として、多様な子育て支援活動を実施し、関係機関とのネットワーク化を図り、子育て家庭へのきめ細かな支援を行い、機能拡充を図る。



子どもと越冬

こどもの里—子ども夜まわり学習会小史

子ども夜まわりでは、ここ 24 年間学習会をしてきました。学習会の目的は、夜まわりの意味をこどもの立場で考えるためでした。テーマは、「寄せ場から生命を考える」で、学校では教えてくれないこと、釜ヶ崎で起きたことを中心に学んできました。

- 第 1 回(86 年)「釜ヶ崎の労働者と私たちの関係」
- 第 2 回(87 年)「おっちゃんごろうさん—学校で教えてくれない日本・釜ヶ崎の歴史」
- 第 3 回(88 年)「アジアの子どもたちと釜ヶ崎—戦争と開発と子どもの生命」
- 第 4 回(89 年)「釜ヶ崎と子どもたち—子どもの権利条約」
- 第 5 回(90 年)「アイヌ民族と釜ヶ崎(寄せ場)—真実の出会いを求めて」
- 第 6 回(91 年)「日雇い労働者と野宿労働者と行路死」
- 第 7 回(92 年)「世界の先住民」
- 第 8 回(93 年)「寄せ場から生命を考える—アイヌ民族の生き方に学ぶ」
- 第 9 回(94 年)「子どもの権利条約」
- 第 10 回(95 年)「寄せ場から生命を考える沖縄—ヌチドウタカラ」
- 第 11 回(96 年)「野宿するおじさんたち」
- 第 12 回(97 年)「おじさんの個人史を通して」
- 第 13 回(98 年)「日雇いの仕事と野宿と行路死」
- 第 14 回(99 年)「野宿するおじさんたちの生活」
- 第 15 回(00 年)「釜ヶ崎の労働者と私たちの関係」
- 第 16 回(01 年)「日雇労働と野宿と行路死」
- 第 17 回(02 年)「ジェンダーから見る釜ヶ崎(なんで釜ヶ崎にはおじさんが多いの?)」
- 第 18 回(03 年)「釜ヶ崎の労働者と私たちの関係」
- 第 19 回(04 年)「憲法第 9 条とわたしたち」
- 第 20 回(05 年)「戦争と子どもたちの生命」
- 第 21 回(06 年)「排除と戦争」
- 第 22 回(07 年)「おっちゃんたちのいのち」—1983 年 2 月 6 日におきたこと
- 第 23 回(08 年)「おっちゃんの人生を聴く—川口敏さん(87 歳)」
- 第 24 回(09 年)「いまの釜ヶ崎を知ろう—野宿者と私たちの自尊感情」
- 第 25 回(10 年)「釜ヶ崎のこれからの歩み—子どもの目から—その 1」

こんな学習会から予想もしなかった出来事がいくつか起きました。一つは「バナナと釜ヶ崎と私たち」の劇が出来ました。外国人労働者がテーマです。二つは、フィリピンやタイの子どもたちとの出会いを求めて外国に出かけたことです。三つ目は、アイヌ民族の子どもたちと北海道で交流することが出来、2010 年には、「ヌチドウ宝」の島、沖縄に出かけました。

野宿者ネットワークの報告に寄ると、大阪日本橋・天王寺でこの 1 年も小学生・中学生・高校生を含む青年たちによる「野宿者襲撃」は後を絶ちませんでした。ダンボールハウスを蹴られる、火のついた吸殻や空き缶を投げこまれる等は、毎日起きています。3 月には、10 代後半の 2 人組みが油で新聞紙に火をつけリヤカーに投げ込まれる事件。4 月には、ダンボールにエヤガンの弾が 2 発ダンボールに突き立ったまま発見された事件。10 月には中学生 15~6 人が竹の棒を持って公園をうろつく事件。他にゴミ袋や傘やカラーコーンや水の入ったペットボトルを投げられたり、ツバを吐かれたりする事件が起きました。特に 2011 年の襲撃の特徴は、5~11 月に頻発に起きた「生卵」による襲撃です。また、東京の江戸川区、千代田区、江東区でも、毎年連続して起こっています。12 月 11 日には、江東区で少年らに野宿者が襲われ肋骨をおろす重傷を負う襲撃事件が起きました。野宿を余儀なくされている人たちは、毎日毎日安心して寝る事ができないでいます。また、夜まわりで 60 歳代の女性や 72 歳のおばあさん、逆に 20 歳代の若者が野宿していることが確認されています。

2011 年度の学習会のテーマは、「釜ヶ崎のこれまでの歩み—子どもの目から—その 2」です。昨年の続編で、釜ヶ崎の歴史を子どもとの関係の中で振り返る事によって、社会の変化の理解を深めたいと思います。講師は、われらが小柳伸顯牧師です。学習会後、心を込めて夜回りしましょう。

2011年度 野宿者数(子ども夜まわりで出会った人たち)

コース	釜ヶ崎A		釜ヶ崎B		天王寺	日本橋		なんば				合計
月日	シェルター	センター・三角公園・出城周辺	センター周辺 今富中学校・	天王寺動物園入口・山王	天王寺駅・斎場・四天王寺周辺	日本橋商店街周辺	えびすちよう駅	難波駅周辺・道長屋筋	なんばハッチ	心斎橋筋	淀屋橋	
2012年												
1月14日	408人	59人	39人	15人	35人	17人	28人	16人	8人	23人		648人
1月21日	454人	45人	24人	20人	28人	16人	21人	14人	8人	25人		655人
1月28日	421人	51人	27人	19人	28人	16人	20人	10人	5人	21人		618人
2月4日	419人	51人	34人	16人	26人	18人	21人	10人	4人	37人		636人
2月18日	423人	45人	40人	17人	21人	16人	23人	6人	4人	24人		619人
2月25日	285人	43人	42人	12人	26人	17人	25人	7人	2人	37人	5人	501人
3月3日	404人	45人	37人	18人	33人	14人	26人	11人	4人	20人	3人	615人

子ども夜まわり参加者数

月日	こども				大人	合計	外部参加
	幼児	小学生	中学生	高校生			
①1月14日	2人	13人	16人	6人	32人	69人	鶴見橋中学校 松之宮小学校教員 弘治小学校教員
	37人						
②1月21日	0人	10人	4人	8人	34人	56人	六甲学院 淡路社会福祉協議会
	22人						
③1月28日	0人	9人	2人	4人	33人	48人	金福大学 松之宮小学校教員 弘治小学校教員
	15人						
④2月4日	0人	9人	7人	12人	29人	57人	日本基督教団草津教会 カトリック六甲教会 中島中学校 松之宮小学校教員
	28人						
⑤2月18日	0人	12人	6人	2人	39人	59人	カトリック阿倍野教会 カトリック講教会 松之宮小学校教員 弘治小学校教員
	20人						
⑥2月25日	0人	9人	5人	8人	23人	45人	六甲学院 わかくさ保育園教員 松之宮小学校教員
	22人						
⑦3月3日	0人	12人	4人	5人	27人	48人	カトリック阿倍野教会 今宮小学校教員 わかくさ保育園教員 松之宮小学校教員 弘治小学校教員
	21人						
合計人数	2人	74人	44人	45人	217人	382人	
	165人						

2011年度 第26回子ども夜まわり学習会

講師：小柳伸顕氏(こやしん)

全体のテーマ：釜ヶ崎と子ども(戦後篇)

月/日	テーマ	学ぶこと・考えること
第1回 1月14日	前年度学習会のまとめ	劇団石(トル)による民衆劇「かまがさき あんこかて人間や!」を観る 釜ヶ崎100年の歴史、おっちゃんたちの人間宣言
第2回 1月21日	大阪空襲とその後	1945年3月の大阪空襲で大阪の町と釜ヶ崎は? ・戦争で犠牲になったアジアの人たちは2000万人 その中で日本人は約300万人と言われている。 ・大阪大空襲で90機のB29爆撃機が大阪にやってきた。→4000人の死者がでる。 ・戦争の時はガスの名がダマだった。「退心セトルメント」から「聖心降魔館」へ ・爆撃でたくさんの場所が焼けてしまう 市民館の所の「徳島国民学校」 ・様々な所で空襲を受けた人はどこにいったのか? 困った人に大阪市と大阪府が相談。すぐに相談所を作った→「大阪府内戦時相談所」 →「大阪市戦時案内所」 戦争が終わったので「戦時」という言葉がなくなった →「大阪市立市民案内所」 →「大阪市立梅田厚生館」 →「大阪市立一時保護所(天神橋)」 →「大阪市立中央更生相談所」 各家・場所をまわって一冊大冊だった現在の場所へ →「大阪市立更生相談所(西成)」
第3回 1月28日	釜ヶ崎と炭鉱	釜ヶ崎に九州のたくさんの人が来た。なぜ? ・「赤い羽根」「緑の羽根」「黒い羽根」の意味 「赤い羽根」…共同募金 「緑の羽根」…植林 「黒い羽根」…石炭で生計を立てていた人の生活を皆で守りましょうという運動 ・エネルギーの移り変わり 石油が出てきて石炭がいなくなったため炭鉱は廃業し、1960年大きな炭鉱がなくなる。 何十万人のひとたちが仕事をうしなした。→仕事を求めて釜ヶ崎へやって来る。 ＜キャラバンの記録「炭鉱」1961年を語る＞ 1970年、初めて原子力発電所から電気を運んでくる(万博開に合わせるため) ・釜ヶ崎・電気・石炭は実はとても関係がある
第4回 2月4日	1961年8月と子どもたち	どうしてあいりん小中学校ができたか ・1960年からの釜ヶ崎の子どもたちの様子 ＜どの位の子どもたちがいたのかグループに分かれて児童数をグラフに書く＞ 戦之茶屋小学校と今宮中学校の子どもは合わせて約3400人いた →釜ヶ崎は子どもがたくさんいる街だった 他に学校にも通えなかった子どもたちが200人くらい(当時の西成警察署調べ)いた ・永田道正さん(現在のシェルター付近で保育所をしていた)→「救済子よし子供会」 学校に行けていない子どもを助けていた子にロビンソンクルーソーやガリバー旅行記の読みかせ ・200人の学校に行けていない子に対し貧しい子たちは学校なんて行かなくてもいいという行政 →1961年8月1日横田さん事件後、暴動の境に学校へ行っていない子どもが沢山いた →どんな貧しい子たちも学校へ行くべきだという動き →皆でウロウロしている子どもたちの多さによりやがて大阪府が動き出す「学校が必要だ」
第5回 2月18日	あいりん小中学校物語【1】 『オレたち学校行きたい』	どんな子どもたちが入学してきたか・どんな学校生活か ・学校に行かなければならないし、親は学校に行かせないといけないうえに…憲法 ・学校に行けていない200人の子どもたちを見つけたのは学校の先生ではなく、西成署の警察 ・大阪市の教育委員会が戦之茶屋小学校と今宮中学校に子どもたちを学校にいられてもらえるように 頼んだが断られる →「あいりん学園」(昭和光の所)の設立 ・「貧乏の子がいく学校」などと言われていた・プールや給食もない・寮生活 ・沖縄出身、被差別部落出身、しょうがい児、様々な子どもたちが通う ・ケースワーカーの仕事(こやしん)
第6回 2月25日	あいりん小中学校物語【2】 『グランドのある学校』	あいりん小中学校から新今宮小中学校へ ・寄せ場での子どもたち…日原野寄場での子どもは既存の学校に入れてもらえない 「ひなびく教室」→「城北学園」(東京)「海学館」→「市立生活館」(横浜) ・この頃の寄せ場では大人に加え、子どもも大切にされていなかった ・「あいりん小中学校」には給食室、プール、体育館、音楽室はなく、屋上でボール遊びをしていた 他の学校には無かった良い所…お風呂、散髪屋(ウーバー) ＜「新今宮小中学校」になるまでの写真をみる＞ ＜あいりん小中学校の子どもたちが書いた作文＞ あいりん小中学校がなかったら22年間で327人の子どもが学校を卒業できなかった
第7回 3月3日	まとめ	・ケースワーカー時代のこやしんと学校になかなかこなかった子とのやりとり 「私が学校に行ったらあたちの世話はどうすんの？」 ・1946. 3. 24 愛徳姉妹会のS・テルミエがチブスで亡くなった日 1954. 3. 3 第5種電報で水母があった日 1922. 3. 3 水平社宣言 「かまがさき あんこかて人間や!」のDVDを観る

夜まわり



行路死・・・守れなかった古城さん（58歳）の命

2月17日（土） 北・山王コース

杉村 次郎

12:30頃、山王の商店街が終わり高滝の寓館下を戻っていると、歩道のフェンスと野宿させないための板の間に、寝ているおっちゃんに参加者の人が声をかけた。おっちゃんはダンボールの上にうつぶせで寝ていた。お茶がほしいと言うが、お白湯しかないのものでそれでよいか聞いて、お白湯を渡した。うつぶせのまま寝ようとし、手も震え、こぼしそうなので、起きて飲めばと言うが自分では起き上がれないと言う。そこで板をどけ、皆で手伝って座ってもらい、お白湯を飲んだ。おかわりを5、6杯した。暖るのが、おっくうそうなので、あんまりたくさんのこと聞いても悪いかなと思った。少し話をして、特選のことや、名前を聞いた。ふるさとの家を知っているか聞いたが、返事が聞こえにくかった。アル中で手が震える。肝臓病とも言った。杏林病院に入院していたことも聞いた。救急車を呼ぶかを聞いたが、明確な返事がなかったので呼ばなかった。寒そうに震えていたので毛布を渡した。自分で横になるのも無理なので、皆で手伝って横向きに寝てもらい、板を戻した。またお白湯を飲めるようにと頭の近くに紙コップを2つ置いて帰った。明日の朝また来て、話を聞こうと思った。

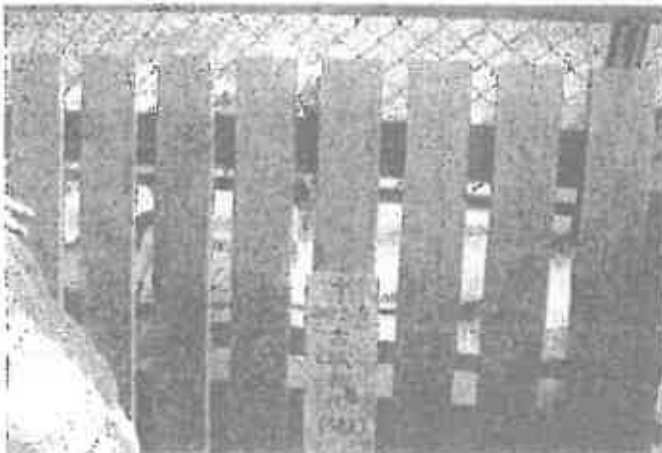
次の日、正午前にボットとおにぎりを持っておっちゃんの所に行った。おっちゃんは横向きに寝たまま、目が開きっぱなしだった。もう既に亡くなっていた。

なんで救急車を呼ばなかったのか。もう一度、夜にたずねたら。朝早くたずねていたら。

このまま何日もほっとけば危ないとは思ったけど、12時間後に亡くなっているとは思わなかった。夜まわりしていたら危険な状況の人と出会うのをわかっているつもりやったけど、「危険な状況」なのに、どこかリアリティーがなかった。おっちゃんとお会った時も、わかっていなかった。死んでから現実がわかった。

1人で死んでいったおっちゃん。誰にも看取られることなく。歩道上で。なんで1人なん？家族は？なんで歩道上なん？なんで野宿しなアカンの？早寝会でなんで野宿することになるかやった。

それでも聞きたくなる。疑問に思う。なんで野宿しなアカンの？



おっちゃんは目を開けてたけど何見てたん？夜まわりのテーマ「一人の死者も出さな！生きて春を迎えよう」やけど、会って12時間後に亡くなった。夜まわりの意味あるの？じゃー夜まわりやめるの？

もしオレがおっちゃんの所に行かへんかったら、いつまでそこにおたまたま発見されへんかったん？人が1人死亡ってるのに誰もわかれへんの？野宿してる人やから、誰も興味ない？おかしいやろ。1人でも、野宿してても、してなくても人は人やで。

(仮称) 萩之茶屋まちづくり拡大会議 のご紹介

萩之茶屋地域は、日雇い労働者、野宿者、屋台、露店など、特有な要素が混在しているまちであり、それらの要素に付随する様々な問題を内包している地域です。また、最近では、少子高齢化、不況による生活保護受給者の増加など、地域の質が大きく変わろうとしている転換期となっています。そのような問題を少しでも改善するために、個々で活動されている団体も数多く存在しています。しかしこれまでは、お互いの思いの違いなどからあまりつながることのなかった各主体でした。

今、その「違い」を乗り越えて、「共有」できる課題に対して意見交換する機会が必要だという思いから、萩之茶屋まちづくり拡大会議という集まりをつくりました。本会議では、地域の団体、町会、小学校などの代表者が月に一回



集まって、ざっくばらんに情報交換をおこなっています。「困難すぎて何もできない」というあきらめの感覚から脱却し、自分たちのできることをつなげながら、少しずつ目に見える成果を紡いでいこうとしています。

■ これまでの会議の経過

多様な団体が萩之茶屋地域の環境に取り組むためには、地域の未来のイメージを共有することが重要です。本会議では、未来を担う地域の子どもたちが成長する環境を整えるという意識抜きには、問題の解決には至らないだろうという考えから、「子どもの住みやすいまち」をキーワードに、地域を子どもから大人まで安心して住めるまちにするため、様々な問題を話し合い、団体の枠を超えて協力する体制ができつつあります。これまでの会議の中で、地域防災や野犬問題、覚醒剤の問題にたいして申し入れを行ったり、屋台撤去後の道路整備、情報掲示板設置、北公園の再整備などの検討を行ってきました。

萩之茶屋まちづくり拡大会議では、繋がってみようという方の参加をお待ちしています。

(仮称) 萩之茶屋拡大会議

開催日：月1回、第2金曜日

(多少前後あり)

時間：18:30～20:30

場所：花園公園集会所

*参加を希望される方は事前にご連絡をお願いします。

連絡先：松本 巖 (06-6641-4590)

— (仮称) 萩之茶屋まちづくり拡大会議参加者 所属団体一覧 —

- | | | |
|---------------------------|------------------|--------------------|
| * いこいの家 | * 社会福祉法人石井記念愛楽園 | * 大阪市立 今宮中学校 |
| * 大阪府簡易宿所生活衛生同業組合 | * 社会福祉法人 大阪自愛館 | * 釜ヶ崎医療連絡会議 |
| * 釜ヶ崎キリスト教協会 | * NPO 法人 釜ヶ崎支援機構 | * 釜ヶ崎資料センター |
| * 釜ヶ崎のまち再生フォーラム | * 釜ヶ崎ふるさとの家 | |
| * カトリック大阪大司教区 こどもの星 | * 萩之茶屋社会福祉協議会 | * 大阪市立 萩之茶屋小学校 |
| * 萩之茶屋小学校・今宮中学校周辺まちづくり研究会 | | * 萩之茶屋本通商店街振興組合 |
| * 萩之茶屋連合振興町会 | * 西成市民館 | * わかくさ保育園 (あいうえお順) |

※メンバーは出入り自由のため、常に変化しています。

萩之茶屋小学校・今宮中学校周辺まちづくり研究会が事務局として機能しています。

社会福祉法人石井記念愛楽園 わかくさ保育園 前園長 小椋昭先生が2011年4月12日にお亡くなりになりました。これからのまちづくりについていよいよ動き出そうとしていた矢先の悲報でしたので、一同悲しみに耐えません。まちづくりへの多大なご尽力を賜りましたことを、この場を借りまして深く感謝申し上げますとともに、謹んでお悔やみ申し上げます。

研究会では、皆々のご意見・ご要望・活動への積極的な参加をお待ちしております。



連絡先：萩之茶屋小学校・今宮中学校周辺まちづくり研究会
事務局 松本 巖 【06-6641-4590】まで



発行：萩之茶屋小学校・今宮中学校周辺まちづくり研究会

編集：まちづくり研究会事務局

発行日：2011年7月19日

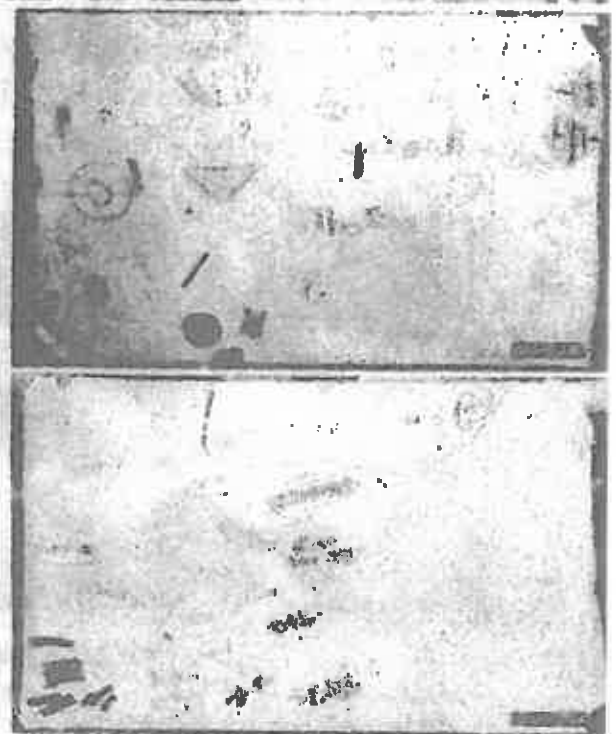
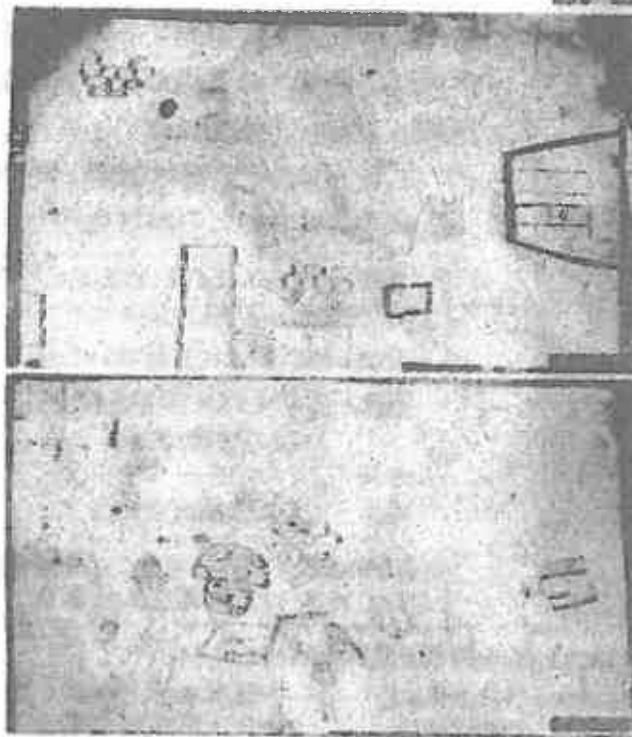
■「理想の公園ワークショップ」

【開催日時】 2010年8月

地域の児童施設、こどもの星を利用している子ども 68名を集め、「理想の公園」を絵と言葉で描くワークショップを開催しました。

1グループ16～17名で4グループに分かれ、紙道紙に自分が公園にはほしいもの、お父様でどんな遊びをしたいかを絵や言葉で表現してもらい、その結果、どのグループでも一番多く描かれたのは、のびのびとボール遊びをしたいという希望で、次に多く見られたのは大きな遊具で遊びたいという希望であった。その他、地域の労働者や実業家と一緒に遊べる場所やご飯を食べる場所が欲しいなどといった意見も見られました。

理想の公園で子ども達の描いた
絵のイメージ



■第2回ワークショップ「お父様ワークショップ」

【開催日時】 2010年10月

開設されていたお父様の一時開放を市に要望し、まずは遊びが目的だった公園内の草刈りを行いながら公園の活用を高めるワークショップを開催しました。

お父様が臨時に開設されるのは約 30 年ぶりのことで、子ども達の目が公園の状況、お父様やまわりの高齢者の存在などを垣間見られ、約 100 名お父様が市に賛同し、結果、8 時間すべての草刈りを取り除くことができました。作業中には、労働者が子どもたちと遊びたい方を勧誘する声も聞かれた。作業後、お父様の方から公園には早め子どもが遊び、お父様のイメージをなくしてほしいという声も聞かれました。

第1回「理想の公園」ワークショップ 2010年8月22日



10月5日 火曜日 第2回

第2回「草刈りワークショップ」2010年10月4日



「いつか遊び場に」
子どもたちが除草

大阪 30年閉鎖の公園

野宿者らに占拠されないよう、大阪市が約30年にわたって閉鎖している同市南区の荒れた公園で4日、近隣の住民や児童や地元財団のメンバーら約100人が参加して「子どもたちが自由に遊ぶ公園を取り戻したい」と、民間の草刈り隊「子どもの国」など組織に呼びかけ、参加した。

園内は10年以上に伸びた草が生える所を生かしていたが、数日間を使って1時間ほどでは刈り終えられなかった。参加した小学生の4人、中学生の1人は「きれいになった公園でボール遊びがしたい」と目を輝かせた。

大阪市緑化推進部によると、公園は野宿者らが住み着くなどしていたため、1980年代にフェンスで囲い、開放して閉鎖した。市は今年度、草をなぎ倒す作業を完了した。フェンスを撤去したりする予定だが、併せて公園として開放する時期はまだ未定という。

(石橋孝)



さびでボロボロになった遊具周辺の草を刈る子どもたち＝大阪市南区



2011年 7月18日 オープニングイベント



こどもスポーツ広場

